

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	北部地区統合簡易水道整備事業費					
担 当 課 係 名	企業局 工 務 課		工 務 係		作成者	田中 司
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち				総合計画の ページ
	基本計画	水道の安定供給と施設の整備				
	主要施策	施設の維持管理				76
予 算 費 目	簡易水道事業特別 会計		2 款 事業費	1 項 簡易水道事業費	1 目 事業費	
事 業 期 間	平成 19 年度 ~ 平成 年度			新規 / 継続の区分		
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☒ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	簡易水道区域内の給水対象者に。
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	西木地区にある北部簡易水道の比内沢浄・配水場には、監視するための設備が未整備の為、維持管理は人手による巡回に委ねられている。また、異常発生知らせる自動通報設備も備わっていないため、断水するまで異常に気がつかない事も度々発生する。よって異常発生時の速やかな対応を可能とすることを目的とする。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	比内沢浄・配水場監視設備設置：現場計装盤、子局装置、配水流量計、取水流量計、残留塩素計 1 式 西木庁舎集中監視設備設置：既設監視装置ソフトウェア追加・改造 1 式

【事務事業の推移】

（単位：千円）

		項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	有収率	%	80.20	57.00	
		総配水量	m ³	58,531	77,614	
	成果指標	有収水量	m ³	46,925	44,274	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)		2,970		2,970	
	財源内訳	国庫支出金	983		983	
		県支出金	0		0	
		地方債	1,900		1,900	
		その他	87		87	
		一般財源	0		0	
	人件費 (B)		—		2,421	
		職員数	—		0.3	
		職員平均人件費	—		8,071	
	(A) + (B) 投下コスト		—		5,391	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		94,579	
			—		69	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		172	

【事務事業の今までの成果】

集中監視装置を整備したことにより、異常発生時の迅速な対応が可能となり、年間を通しての施設の稼働状況が把握できるようになり施設の効率的運用や早期異常発見が可能となった。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	漏水等による断水で水洗トイレ等が使用出来なくなることにに対する不安を、早期発見対応により不安を解消できる

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	集中監視装置を整備することで、西木町地区内の簡易水道施設の管理が一体化できると共に、異常発生時の迅速な対応が可能となり、施設の効率的運用や早期異常発見が可能となっている。よって、A判定と判断した。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	集中監視装置を整備することで、施設の効率的運用や早期異常発見が可能となるため、必要な事業と考える。

一次評価診断図

